

深化の過程

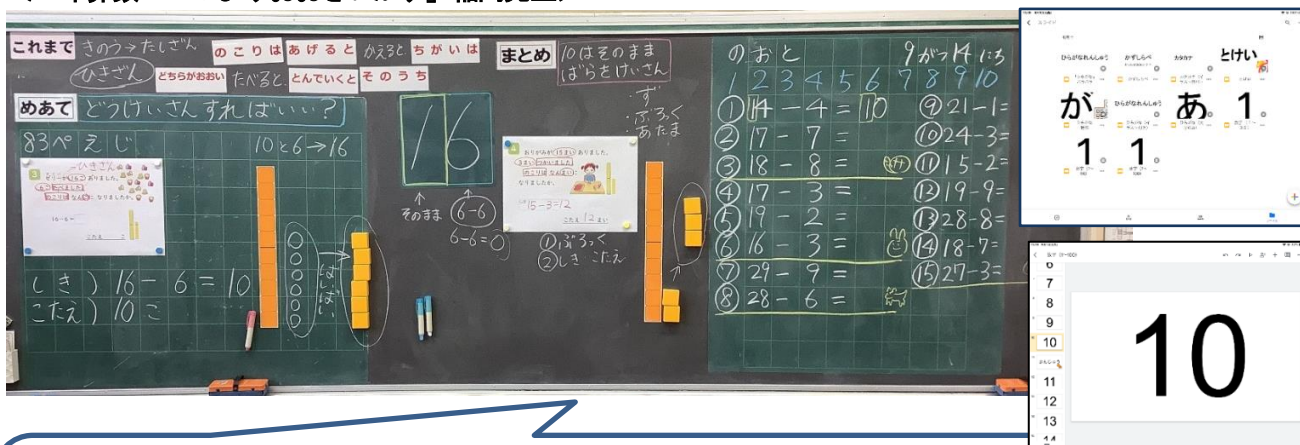


2021.10.20
No.13

☆授業実践報告⑦

お忙しい中、実践をまとめていただきありがとうございます。10月4日の報告分をお伝えします。

<1年算数「10よりおおいかず」稲岡先生>



- 前時で足し算を学習したことを取り上げたことで、めあてを確認した時に、「昨日と同じ方法でできるかな。」と発言している児童が見られた。(見通しを持つことができた)
- 練習問題をコース(かめさん、うさぎさん、チーターさん、飛行機)に分けることにより、多くの児童が意欲的に練習問題に取り組むことができた。
- ネームプレートを活用する場面をうまく作ることができなかった。
- 「まとめ」や「ふりかえり」に十分な時間を確保し、考えることができなかったため、今後、練習していきたい。

<なかよし1組 図工「染め紙でうちわを作ろう」坂本先生>



- <授業の流れ>
- ・スポレクに触れて応援するための「うちわ」を作ることをスライドで見ながら、説明文を声に出して読んで復唱していく。
 - ・4色のうち、3色選んで使うことを確認する。
 - ・順番に一人ずつ染めていく。

- 指示や助言がなくても最後まで一人で取り組むことができた。
- あえて4色用意したが、3色使うというきまりを思い返して守る事ができた。
- ミライシードのスライド画面がすぐ消えてしまうのでミラーリング操作に手間取る。

☆1年生やなかよしでの実践報告、ありがとうございました。どの学年でも同じだと思いますが、特に低学年や特別支援学級では学習活動の見通しをしっかりとらせることが大事ですね。分かりやすく、短い時間で児童に把握させることができるよう、私も意識していきたいと思います。(文責：山崎)

